



ドゥルガー

貴方ですね、神々の怒りたる私にこのような
巫山戯た戦いを挑まんとする不埒者は…

ドゥルガー

(人の身でありながらなんたる邪気…)

(神性も魔性も有さぬ筈のただの人間に何故警告信号が鳴り止まない…)

ドゥルガー

(既に別側面たる優美の女神もあの忌々しき愛欲の魔王も堕とされた…)

(我らと似た貌を持つ月兎にこの黒蝕の烙印を施された以上、残された時間は長くない…)

ドゥルガー

(不本意ですが、ここはこの人の子の手に
乗らざるを得まい…)

ドゥルガー

良いでしょう、受けて立ちます
当女神は魔を殲滅する為に生まれた兵器
例えそれが性技であろうと他の神々に…
ましてや人の子に遅れを取る筈がありません

ドゥルガー

滂沱の如く果てなさい

――神罰執こ…



ドゥルガー

……うオ？

ドゥルガー

おっ…おぉ～……♡♡

ドゥルガー
(なっ…何ですかこれは…♡)
(理解が…追いつかな…)

ドゥルガー

——ッおぉっ♡♡♡

ドゥルガー

おっ♡やっ♡やめてくださいいっ♡

負けです負け♡完敗♡

当女神は負けましたぁっ♡♡♡

ドゥルガー

(ああ…これ以上は抑えられない…)

(怒り…いや、「悦び」が…♡)

ドゥルガー

(権限変更、霊基再臨)

(殺戮女神たる私よ、どうか共に…堕ち…)





カーリー

…あ？

何だ、何故、我が「呼び起こされて」いる？

カーリー

分離、したかのような…「別たれた」のか？

一体、何が起こって…

カーリー

――――ッ！？

カーリー

な、なんだ、お前は…！

何が起こっている、何が…

カーリー

―ッんぐぉおおぉ♡♡♡♡

カーリー

や、やめりょオオ…♡♡

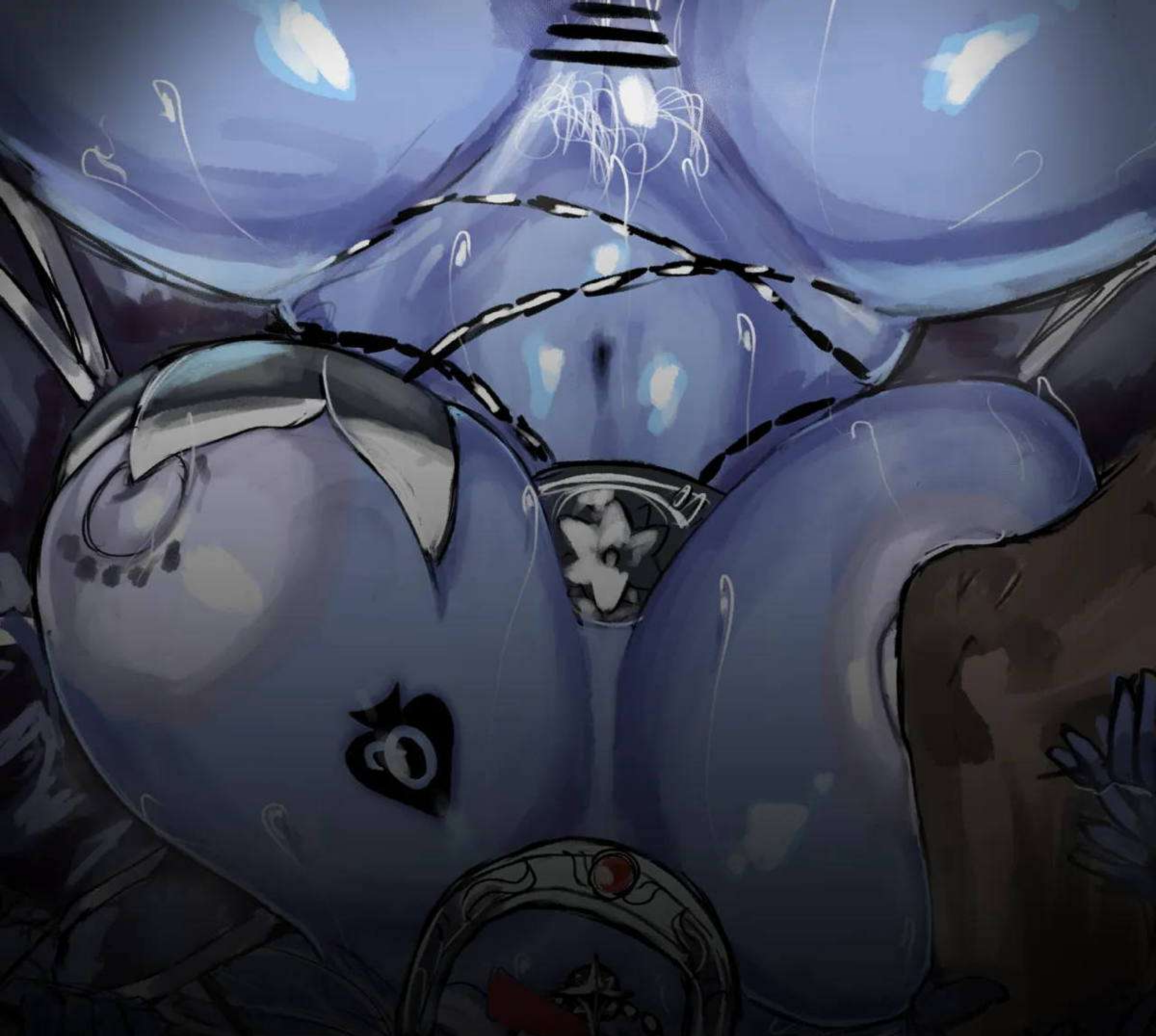
踏みつけりゅなぁあ…♡

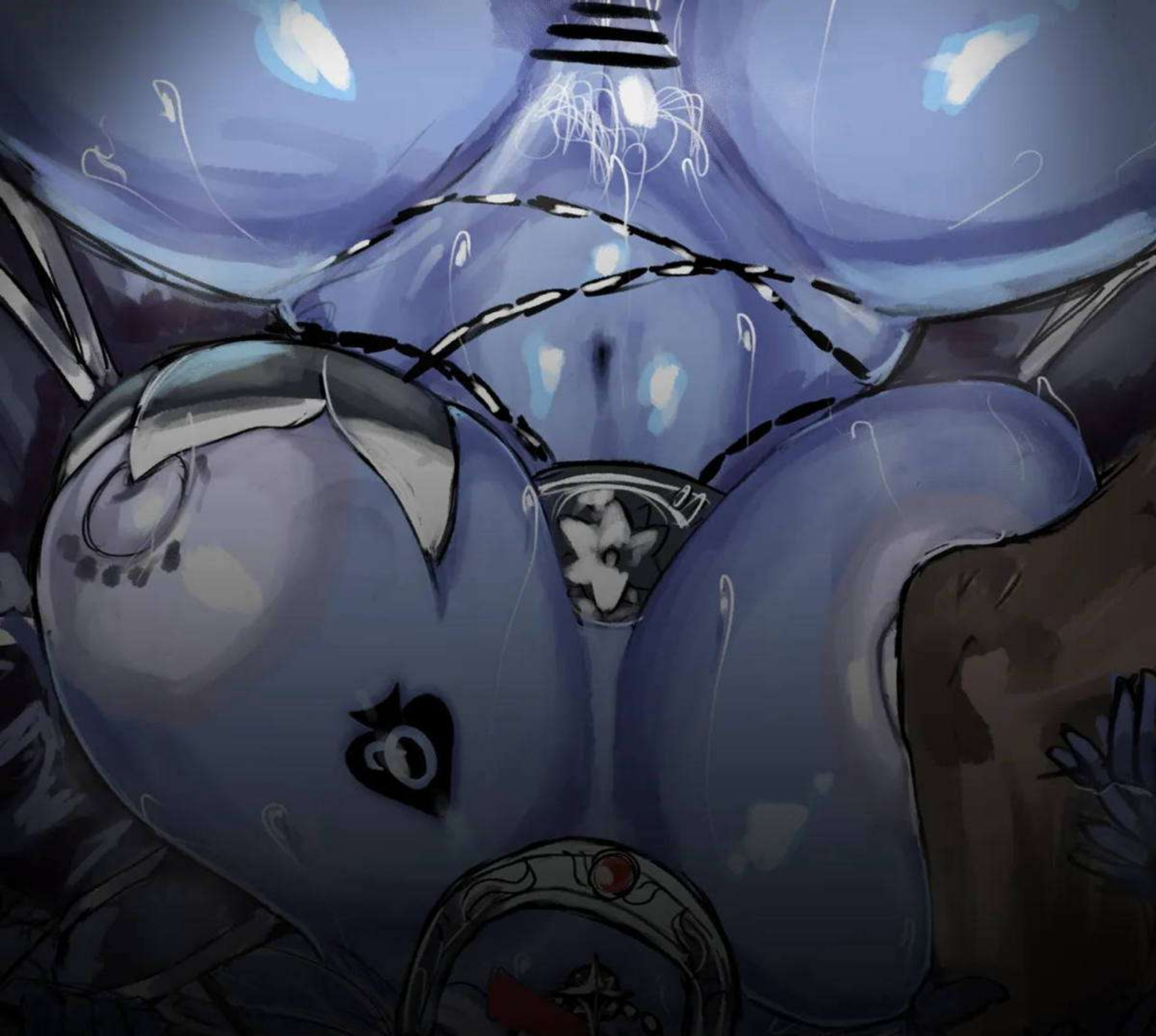
カーリー

ああ…悦ぶ…悦んで、しまう…♡
こんな…我が人間の「下」にされる
ことで…♡

カーリー

―ンギィィいあああアアアアアア
アアアアアアアアアアッッ♡♡♡♡





カーリー

…ぎは、ぎはは♡

まさか、この我を屈服させる人間が、

現れようとはな…♡

カーリー

良いだろう。是よりは、汝の伴侶として
我が武具と、肢体を振るおうぞ

カーリー
なればこそ、
シヴァの炎すらも凌駕する汝の魔羅を、
存分に、喰らわせろ…♡

LINK LOST